

マネージメント情報

※2020年2月アメリカ研修 Vol.1

ProCross (クロスブリーディング) の牧場 Andersen Dairy. アイダホ州

私が現時点でこの牧場にたどり着けたことをとてもラッキーだと思っています。宝くじに当たったように思っています。今から3年前にこの ProCROSS という三元交配の Crossbreeding に出会いました。昨年9月にこの ProCROSS を作ったカリフォルニア州 Oakdale にある Creative Genetics 社を再訪して、なんとか ProCROSS の受精卵を輸入できないか？と社長の Mike Osmundson さんをお願いをして、可能性のある農場を全米で10ヶ所紹介してもらいました。様々な人を頼りながらたどり着いたのがこの Andersen Dairy でした。なぜ宝くじに当たったか？といいますとこの Andersen Dairy が現在の世界中のホルスタイン種の種雄牛の中ではナンバーワンといっても過言ではなく、一世を風靡したあの Seagull Bay Supersire を生産した Seagull Bay Dairy と兄弟牧場だったのです。しかもこの Seagull Bay Dairy の牛群構成の90%が ProCROSS だということ、そしてこの Seagull Bay Dairy で私がお願いしている ProCROSS の採卵が現在行われているということです。下りが長くなってしまいましたがこういう摩訶不思議な現実があるのですね！？

【Andersen Dairy①】



【Andersen Dairy②】



【Andersen Dairy③】



【Andersen Dairy④】



Andelsen Dairy と Seagull Bay Dairy はただの兄弟牧場ではなく、二つで一つの酪農家なのです。農場紹介の Web に“One Herd on Two Sites”と書かれています。

Seagull Bay Dairy では主にクローズアップから生後半年間までを担当し、Andelsen Dairy では7ヶ月から乾乳前期までを担当しそれぞれ搾乳牛を650頭と1500頭を担当します。

なぜ Crossbreeding で ProCROSS か？

Andelsen Dairy の Ben Andelsen さんが今日に至るまでの Andelsen Dairy Seagull Bay Dairy の歴史と ProCROSS の経緯を説明してくれました。

2002 年に Ben さんが大学を卒業した当時は、一般的な酪農家と同じ様に高泌乳であったが事故が多い農場で、それを解決するために HO(ホルスタイン種)と JO(ジャージ種)の F1 の Crossbreeding を始めました。HO(ホルスタイン種)に戻すのか？JO(ジャージ種)を授精するのか？別の品種を選ぶのか？という具合に Crossbreeding で問題になるのはその次 (F2) にどの品種を授精するか？ということで、2005 年に ProCROSS のプログラムの存在を知り Ben さんのお父さんと弟さんがカリフォルニア州の Oakdale の Creative Genetics に見学に行ったそうです。その翌年に Ben さん自身も Creative Genetics に行き実際に ProCROSS の牛を見て HO×JE の次にあるいは HO の F1 に Montberjade が良いという判断をして ProCROSS を取り入れ始めました。その後 JO は体系が小さくなるのは良いのですが乳房の下垂が搾乳しづらくなるという問題がでてきて 2007 年には JO を使うのを一切中止して Crossbreeding は全て ProCROSS に変更し群の 10%は Crossbreeding の効果を見るために HO を残すことにしました。

そしてこの 10%の HO の牛群で 2008 年からゲノムテストを始め、積極的に受精卵移植を取り入れて遺伝改良を始め 2009 年に Seagull Bay Supersire の母親の AMMON-PEACHY SHAUNA-ET が誕生しました。

Seagull Bay Dairy は元々のブリーダーではなく、ごくごく普通の酪農家が牛群改良の途中心にとてつもない遺伝能力のあるホルスタイン種の雌牛 AMMON-PEACHY SHAUNA-ET に出会い、その息子に Seagull Bay Supersire が誕生したという物語があったということになります。

私が宝くじに当たったと感じたのはこの様な事実に出会い、また ProCROSS の受精卵を輸入したいという思いが現実のものになり、それを引き受けてくれたのがこの Seagull Bay Dairy と兄弟牧場の Andelsen Dairy だったということです。

次回には Seagull Bay Dairy の歴史を含めもっと詳しく彼らの ProCROSS 牛群の実情をお知らせしたいと思います。

今回はひとつだけ特に感じた ProCROSS と通常のホルスタイン種との違いについてお伝えします。

蹄病の痩せ方の比較

【Andelsen Dairy⑤】ホルスタイン種



【Andelsen Dairy⑥】ProCROSS



牛が汚れていて少しわかりづらいのですが上の写真は訪問時 Andelsen Dairy の病畜の群にいた同程度の蹄病のホルスタイン種（左）と ProCROSS（右）の写真です。

私が伝えたいことは、ホルスタイン種は蹄病による疼痛のために採食量が落ちて痩せていきますが ProCROSS の牛は疼痛があっても採食量が落ちずに痩せないということです。

痛みに強いということです。私の理解は、草食獣は野生では弱みを見せると肉食獣の餌食になってしまいます。ProCROSS（Crossbreeding）はホルスタイン種と比べると雑種のためにまだこの野生の部分が残っているのではないか！？です。

例えば周産期病のボーダーラインの状態でも、この野生の部分が現れて採食量を下げずに食べ続けて病気にならないのではないか！？と思いました。

どうでしょうか？

.....
※3月31日をもって黒崎会長が退職されました。以前から65歳になったら俺は辞めると話していましたが、キッチリと実行されました。

潔い身の引き方だったと古くからお付き合いのあるみなさんがおっしゃいますが全くそのとおり！と私もただただ敬服しているところです。

私とは旧列海町農業共済組合時代からの付き合いとなり、途中根室地区 NOSAI 時代に私の人事異動で一時離れた時もありましたが足かけ40年の付き合いになります。

総合牛群管理サービスの時代からの26年間思い出しますと平成6年に黒崎会長が一人で開業し、翌年に私が、また次の年に阿部獣医師（現酪農学園大学教授）が、またその次の年に佐竹現社長が入社し……黒崎会長が一人から始めた会社が現在では30名を超える大所帯になりました。

その間いろいろなことがありましたが、黒崎会長が獣医師として顧客の酪農家のみなさんに何ができるか？！と考え続け実践してきた結果が現在のトータルハードマネジメントサービスであると思っています。

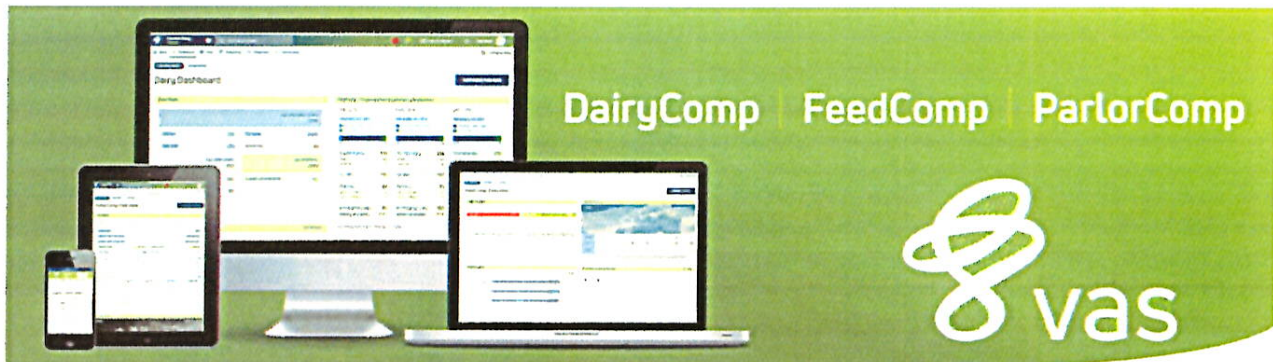
黒崎会長という大黒柱が抜けた形になりますが、残りましたわれわれ社員一同力を合わせてクロサキイズムに恥じないように力を合わせていく所存ですので今後とも新生トータルハードマネジメントサービスをよろしくお願いいたします。

R2.4.13.Y

マネージメント情報 2020 年 4 月

VAS Platform リリース

Oku



弊社が牛群管理ソフトとして使用している Dairy COMP 305 がデータを web クラウド上に置くことで DC305 がインストールされているパソコン本体に加えて、その他のパソコンでも web で個体データや現状の解析結果の閲覧や、イベントの入力もできるようになりました。またスマートフォンやタブレットでもアプリから個体情報を閲覧可能になり、牧場内のどこにいても牧場のスタッフ全員が個体データを確認できます。乳検データはもちろん、パーラーで乳量測定をしていてそれを DC305 と連携

している場合、その乳量データも閲覧できます。

2018 年からリリースされていたのですが、この度日本でも使用できるように連携していただけるようになりました。牧場に DC305 を導入していないとこのサービスを受けられないのですが、DC305 での牛群管理を活用されている農家様は興味がありましたらご連絡ください。

英語にアレルギーのある私たち日本人には残念ながらとにまだに日本語表記はなされておらず、すべて英語表記にはなります。

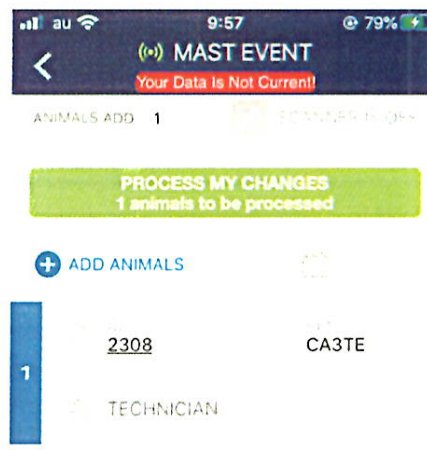
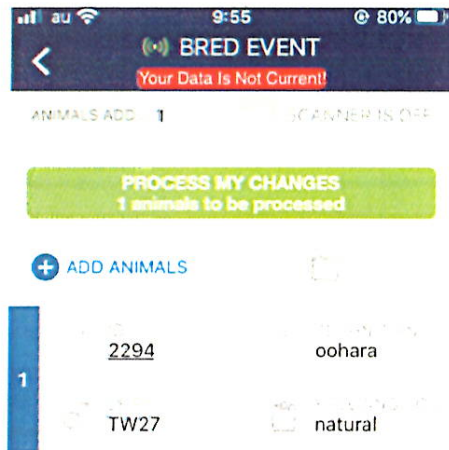
Recent Events 個体データとイベント履歴								SEE MORE →
DATE	EVENT	REMARKS	DETAILS	DATE	EVENT	REMARKS	DETAILS	
11/14/19	OK	-	...	01/12/20	BRED	HK262	PREGNANT (P), D OVCY (M)	...
12/16/19	MOVE	F001T003	1 → 3	02/14/20	PREG	33 DAYS		...
12/16/19	DBGNRH		...	03/20/20	PREG	F		...

Status Items								SEE MORE →
PAGE 1 ITEMS								...
PEN	DIM	RPRO	DCC					
3	177	PREG	92					
LACT	DUDRY	TBRD	MILK					
3	08/19/20	1	46,0					
CBRD	DUE	TRANS	RELV					
H	10/18/20	14,164,000	122					

Recent Testdays 乳検データ・パーラー乳量												SEE MORE →
DATE	DIM	MILK	PCTF	PCTP	FCM	305ME	RELV	SCC	LGSCC	MUN	PEN	
03/19/20	152	45,99	3,9	3,7	48,99	14,161,30	122	38	1,6	99,9	10	
02/18/20	122	47,99	3,7	3,3	49,44	13,199,67	109	20	0,7	99,9	10	
01/20/20	93	48,99	3,4	3,5	48,08	13,149,78	109	20	0,7	99,9	3	
12/19/19	61	47,99	3,5	3,1	48,08	13,031,84	108	9	0,1	99,9	30	
11/21/19	33	48,99	5,5	3,4	64,86	12,800,51	106	30	1,3	99,9	1	

Daily Recent Production											
MILKING	APR-03	APR-04	APR-05	APR-06	APR-07	APR-08	APR-09	TODAY	AVG	EXPECTED	DEVIATION
1	20,5	20,5	20,5	20,5	20,5	20,5	13,5	13,5	20,5	20,5	0,0
2	14,0	16,0	17,0	15,5	15,5	16,0	15,5	10,5	15,5	15,7	-11,6
3	12,0	12,0	13,5	12,0	12,0	12,0	9,5	13,5	12,0	12,0	3,4
Σ	46,49	48,49	51,03	47,99	47,99	48,49	38,51	37,51	47,99	48,22	-8,2

アプリからのイベント入力



DC305 で指定された cowfile が毎日定期的に Platform と呼ばれる web クラウド上にアップされます。各アカウントからその Platform にアクセスしデータを閲覧したり、アプリから入力した Events も DC305 の cowfile にアップされたり相互入力が可能になっています。

牛群データの解析に関しては細かい解析はできませんが、大まかな解析結果をホーム画面に表示させておき、現

在の搾乳頭数や今後の分娩予定頭数、牛群の頭数推移などを確認することもできます。

牧場スタッフ間でのコミュニケーションや牛群管理の一助になればと思います。

Cow Stats

ALL MILKING COWS 591				ALL DRY COWS 61		ALL HEIFERS 558	
FRESH	60	TO TANK	591	CLOSE-UP	39	CLOSE-UP HEIFERS	11
DUE DRY	50	HOSPITAL	0	FAR OFF	22		

UPDATED: 04/11/20 12:23 AM (2 DAYS AGO)

ECONVR - Projected Herd Inventory/Production

APR 2020	MAY 2020	JUN 2020
MILKING VS DRY MILKING COWS - 591 DRY COWS - 61 90.6% 9.4%	MILKING VS DRY MILKING COWS - 585 DRY COWS - 68 89.6% 10.4%	MILKING VS DRY MILKING COWS - 594 DRY COWS - 61 90.7% 9.3%
TO FRESHEN COWS: 36 HEIFERS: 28	TO FRESHEN COWS: 48 HEIFERS: 35	TO FRESHEN COWS: 55 HEIFERS: 32
TO DRY 35	TO DRY 28	TO DRY 41
TO CULL LACT > 1 (24%): 6 LACT = 1 (10%): 1	TO CULL LACT > 1 (24%): 9 LACT = 1 (10%): 2	TO CULL LACT > 1 (24%): 9 LACT = 1 (10%): 2
ESTIMATED LIVE FEMALES BORN 17 (45%)	ESTIMATED LIVE FEMALES BORN 26 (45%)	ESTIMATED LIVE FEMALES BORN 33 (45%)

ESTIMATED MILK PRODUCTION

